

被災地に10万本のバラの花をおくろう！



フラワーズ・エール Flower's YELL

インフィオラータを通じて、被災地に10万本のバラの花を届けたい！

このたびの東日本大震災により被害を受けられました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
皆様の安全と1日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

毎日テレビや新聞等で報道されている被災地の状況。
そのどこを見ても一輪の花すら目にすることはありません。
そこには生きていくことに精一杯の現実が映し出されています。
現在、そして未来への不安と苦悩を抱える被災地の方々の心を、
少しでも和ませ元気にすることはできないだろうか？

私たちはインフィオラータを日本で始め、今年で10年目を迎えました。
花は人の心を和らげ、活力を与えてくれます。
そこでインフィオラータを通じて、花で被災地にエールを送ることを考え、
この度「Flower's YELL」という花による被災者応援プロジェクトを立ち上げました。
この春、全国各地で開催されるインフィオラータの解除で寄せられた皆様の募金を、
10万本のバラの花に変え、震災で被害の大きかった震災で被害の大きかった地域の
避難所・学校・病院などに、私達が直接お届けします。

どうかみなさま、私たちとともに10万本のバラの花を届けるために、
募金にご賛同・ご協力お願いいたします。

株式会社インフィオラータ・アソシエイツ
代表取締役社長 藤川靖彦

Flower's Yell (フラワーズ・エール) とは？

被災者の心を和らげ、厳しい避難生活に少しでも心の安らぎを送りたい。
インフィオラータを通して志をひとつに、10万本のバラが被災地に笑顔と元気の花を咲かせます。

①アーティスト達が気持ちを込めて応援メッセージを描きます。

- ・応援メッセージは約2m×2mの大きな応援旗となります。
- ・応援旗はインフィオラータの会場にて掲出し、来場された方々に応援メッセージを書き込んでいただきます。

②応援旗はインフィオラータで“フラワーフラッグ”として演出します。

- ・フラワーフラッグは、会場に来られた方々といっしょにバラの花びらで制作します。
ひとつの作品をみんなで協力しながら創ることで、気持ちをひとつに被災地へエールを送ります。



③会場内で被災地に10万本のバラを送るための「Flower's Yell 募金」を募ります。

- ・インフィオラータ開催期間中、会場内にて募金を募ります。

④集まった募金を10万本のバラに変え、避難所や学校、病院へ直接届けにいきます。

- ・バラの花をトラックに積み込み、私たちが継続的に被災地に直接届けに行きます。
- ・また、被災者の方々とともにインフィオラータも創作してきます。

10万本のバラの切り花は、宮城県と岩手県を中心に震災の被害の大きかった地域の
避難所・学校・病院等に私達が直接お届けします。(次回のお届けは本年11月頃を予定しています)

協力アーティスト



応援団長：浅葉克己(アートディレクター)
作品タイトル：
「よみがえれ 日本。 よみがえれ 東北。」



応援団長：白井貴子(ミュージシャン)
作品タイトル：
「Try Try Again」



応援団：チェブラーシカ(キャラクター・ロシア) / 田代知子(イラストレーター) / アントワーン・チェザローニ(画家・イタリア) / マイケル・レーム(ティンガティンガアーティスト・タンザニア) 他

「Flower's Yell 10万本のバラの花」募金を受け付けています。

株式会社インフィオラータ・アソシエイツでは、2011年 東日本大震災の被災地での被災者応援活動として10万本のバラの切り花を届けるため、皆さまからの募金を下記の通り受け付けております。皆様からお寄せいただきました募金は10万本のバラの切り花に変えて、被災者の方々に直接お届けいたします。

①Flower's Yell開催会場での募金

※開催予定につきましては上記TOPICSをご覧ください。

②Flower's Yell募金受取専用口座に入金による募金

※下記口座にてお受け付けください。

ご協力ありがとうございました

- 三菱東京UFJ銀行 下北沢支店
- 口座番号:(普) 0141700
- 口座名義:フラワーズエール

- ・ご利用金融機関が設定する振込み手数料がかかりますので、ご注意下さい。
- ・本口座への募金は寄付金控除の対象ではありません。
- ・寄付金受領書の発行はいたしかねますので、ご了承下さい。

2011年「Flower's YELL」活動実績

2011年4月

- 八丈島空港にて、八丈町より提供いただいたフリージアで花絵を創作。
- イオンレイクタウンにて花絵を創作するとともに、募金活動を実施。
- 星が丘テラス(名古屋)にて花絵を創作するとともに、募金活動を実施。

2011年5月

- 石巻市に白井貴子さん、浅葉克己さん、藤川靖彦が慰問。
八丈町より寄贈いただいた500本のフリージアを、避難所(河北総合センター)の方々に寄贈。
イオン石巻店にてイベント出演、花絵の創作とともに、1,000本のフリージアを石巻市民に寄贈。
- カレッタ汐留にて花絵を創作するとともに、募金活動を実施。
- 浪江町住民が避難するJICA二本松を慰問。
カレッタ汐留より寄贈いただいた4,000本のバラで、被災者の方々とともに花絵を創作。

2011年6月

- 石巻市の避難所(河北総合センター・飯野川第一小学校)を慰問。
1,000本のバラを寄贈するとともに、4,500本のバラで被災者の方々とともに花絵を制作。
- 陸前高田市の避難所(高田第一中学校)と学校(気仙小学校)を慰問。3,000本のバラを寄贈。
- 気仙沼市の学校(階上小学校・大谷小学校・小泉小学校・松岩小学校・気仙沼小学校・鹿折小学校・浦島小学校・唐桑小学校)を慰問。
5,500本のバラを寄贈。
- 南三陸町の学校(名足小学校・伊里前小学校・志津川小学校・入谷小学校・戸倉小学校・戸倉中学校)を慰問。4,500本のバラを寄贈。
- 女川町の学校(女川第一小学校・女川第一中学校)を慰問。1,500本のバラを寄贈。

2011年8月

- オリナス錦糸町にて花絵を創作するとともに、募金活動を実施。
- 「24時間テレビ 愛は地球を救う」石巻復興会場にて、「Flower's YELL」活動の紹介とともに、花絵を創作。
- 「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW」にて花絵を創作するとともに、活動報告を展示。

2011年9月

- 流山おおたかの森にて花絵を創作するとともに、募金活動を実施。

2011年10月

- 関西国際空港にて花絵を創作するとともに、募金活動を実施。

2011年11月

- エンジン01文化戦略会議が主催する「会津エンジン06」会場にて、大熊町住民とともに、5,000本のバラで花絵を創作。

2012年3月

- 3月11日、石巻市の中瀬公園にて祈りの灯り、希望の灯り「桜灯2012」を開催。
10,000本のバラと10,000個のキャンドルで、石巻市民とともに満開の桜を演出。
- 横浜ベイクォーターにて花絵を制作するとともに、募金活動を実施。

2012年6月

- 大船渡市の末崎小学校を慰問。3,000本のバラを寄贈。小学校の生徒とともに花絵を創作。

2012年8月

- 汐留イタリア街にて花絵を創作するとともに、募金活動を実施。

2012年9月

- インフィオラータの世界大会「Congres Internacional d' Art Efimer」に招かれ、国際会議にて「Flower' s YELL」活動の紹介と報告。

2013年7月

- NHK第一ラジオ「ラジオ深夜便」にて、「Flower' s YELL」活動の特集紹介。

2014年4月

- 八丈町から摘んだ20,000本のフリージアを届けるとともに、2013年10月に伊豆大島で起きた、台風26号による土砂災害被災者への追悼の花絵を創作。

2016年3月

- 3月11日、福島県いわき市にて、7,000本のカーネーションとガーベラで追悼の花絵を創作。

2017年3月

- 3月11日、福島県双葉町仮設住宅にて、3,000本のカーネーションで追悼の花絵を創作。

2018年3月

- 3月11日、福島県双葉町仮設住宅にて、3,000本のカーネーションで追悼の花絵を創作。

2019年3月

- 3月11日、福島県双葉町復興公営住宅にて、8,000本のカーネーションで追悼の花絵を創作。

2019年11月

- 令和元年東日本台風被災地（長野県軽井沢町）への支援物資（合羽上下セット）を寄贈。

